<i>平成19年度(対18年度実績)</i> 事務事								事	業		評	価	表		作成	日 <u>5</u>	平成	19 年 6	5 月	7 日
部局名 安全環境部 所属名 生活					舌安全課				所原	属長名	宍倉	赤雄	電 話 483-1151 内線3110							
 1. 事務事業の位置付け・概要(PLAN)																				
コード	コード 3783 事務事業名称		防犯対策事業										短縮コード 経常 3783		臨時	3977				
予算区分	会計	01	一般会計		款	02	総務費				項	01	総務	管理費	目	11	地域扱	長興費		
区 分						八千代市														
事業概要	要(事務	事業を	開始したきっかけ	を含め	て記入	.)														
	昭和61年4月に,八千代市防犯灯設置及び維持管理補助金交付要綱を制定し,暗い道を歩く市民の不安を解消するために,自治会等で所管している防犯灯の設置や維持管理費に対して助成していく。																			
事務事為	業を取り	巻く状	況の変化 又、今	後の変	化の推	測			5	5本の	柱(章	Ē)	03	安全・環境共生都市を	をめざ	して				
			ハ,対象とする自 止のために,事業					2,		大項[目(節))	01	市民の安全						
								総合		中項目		03	防犯							
								計画												
							施施	<u>i</u> /	小項目(施策)	į)		防犯活動の促進								
							策体系	₹					防犯施設の整備 							
								术		細	項目	<u></u>		防犯灯等の整備・充実	 実					
								実施計言計画事		計画	の	3110	防犯灯等設置・維持管	管理支 担	爰事業					
計画事業の位置付けの有無					間昭	昭和61年4月 ~ 計 i			計画事業費	Ì				千	円					

2. 事務事業の目的・指標・実績(DO)

2. 事務事業の目的・指標・実績(DO)										
対象 (誰を何を対象にし ているのか)	自治会									
手段 (具体的な事務事業	※平成18年度に実際に行ったこと: 自治会の防犯灯新設,全改修に対する補助(率10分の8,限 自治会で管理している防犯灯の電気代に対する補助(1灯に)							
のやり方、手順、詳 細)	※平成19年度に計画していること: 自治会の防犯灯新設,全改修に対する補助(率10分の8,限月 自治会で管理している防犯灯の電気代に対する補助(1灯に)							
意図 (何を狙っているの か)	夜道を歩く市民の不安を解消し、安心して歩けるようにする。									
結果 (どんな結果に結び つけるのか)	防犯上、危険なところをなくす。									
			17年度	18年度	19年度					

区分			24.17	17年度	18年	19年度	
Б Л			単位	実績	計画	実績	計画
	指標1	自治会数	団体	227	235	229	235
対象指標	指標 2						
	指標3						
	指標 1	補助金を受けた団体数	団体	193	250	253	260
活動指標	指標 2						
	指標3						
	指標 1	補助金の対象とした防犯灯の新設、全改修灯数	灯	563	600	478	500
成果指標	指標 2	補助金の対象とした防犯灯の設置数	灯	11, 697	12, 000	12, 191	12, 000
	指標3						
	指標 1	防犯パトロール実施延日数	日			246	
上位成果指標	指標 2	市内の防犯灯等設置数	灯			12, 196	
	指標3						

⊐ -	- ド 3783	事務事業	美名称	防犯対策事業		所属名 生活安全課		
単位				1 7 年度	1 8	19年度		
+4			丰位	実績	計画	実績	計画	
		国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	0	0	0	0	
	財源内訳	地方債	千円	0	0	0	0	
_		一般財源	千円	39, 070	40, 986	37, 124	42, 223	
事業		その他	千円	0	0	0	0	
主な事業費の内訳				補助金 35,398 工事請負費 1,230 需要費1,580 役務費40 備品購入費813 公課費9	旅費26 需要費1,814 役務費16 工事費1,400 負担金補助及び交付金37,730	需用費980 工事請負費 1,034 負担金補助及び交付金 35,075	需用費1,599 工事請負費 735 負担金補助及び交付金 39,080	
人件	人件費(B) 千円			21, 701	17, 420	26, 900. 8	26, 900. 8	
ト — タ ル コ ス ト (A) + (B) 千円			千円	60, 771	58, 406	64, 024. 8	69, 123. 8	

3. 事務事業の評価(SEE)

3.	事務事業の評価(SEE)						
評価 類型	評価事項	評価区分	理由				
		☑ 結び付いている	犯罪の防止に役立っている。				
	①事業目的が上位の施策に結びつ	□ 結び付くが見直しの余地がある					
	いているか?	□ 結びつきが弱い・ない					
		評価対象外事項					
		□ 達成している	防犯上、防犯灯の設置・維持管理の為、補助金の交付を続ける必要がある。				
目	②すでに所期目的を達成しているか?	☑ 達成していない					
1的妥当	※「達成している」を選んだ場合、⑥ に進んでください。	□ 評価対象外事項					
性	③民営化で目的を達成できるか?	□ 可能性はある	防犯灯の設置・維持管理に対する補助事業の為,民営化はできない。				
	※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。	☑ 可能性はない					
	(民間委託は、権限に属する事務事業 等を委託することで、民営化とは異な る。)	□ 評価対象外事項					
		☑ 現状のままでよい	防犯上,防犯灯が適切に管理される必要がある為,対象及び意図に合致していると考える。 				
	④「対象」・「意図」の設定は現 状のままで良いか?	□ 見直す必要がある					
		□ 評価対象外事項					
		□ 有効性向上の可能性がある	防犯灯に対する助成事業であり、各自治会が有効・効率的に運用している。				
	⑤今後、有効性や効率性を向上さ せる可能性はあるか? 可能性がある場合は、⑤-2,	□ 効率性向上の可能性がある					
	3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記	□ 両方可能性がある					
	入する。 	☑ 可能性がない					
有	⑤-2 有効性や効率性を向上さ	□ 民間委託等					
	せる手段は何か? 該当する手段を選択し、	□ 臨時的任用職員等の活用					
効 率 性	具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」	□ IT化等業務プロセスの見直し					
性	である場合は、該当する類似事業を記入する。	□ 受益者負担の見直し					
		□ 類似事業との統合・役割見直し	類似 1 実施主体 (所管部署)				
		□ 上記以外の方法	事業 実施主体 名称 (所管部署)				
	5-3 推進にあたっての課題はあ	□ ある					
	るか?(一時的な経費増・市 民の理解等)	口ない					

٦-	- ド 3783 事務事業名称	防犯対策事業			所属名 生活安全課					
今後の方向	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	□ 改革・改善し ⁻ □ 手法プロセス □ 事業規模の拡 □ 統合・役割見 □ その他 □ 廃止 □ 休止 □ 現状のまま継続	スの改革・改善 法大・縮小 記直し		ですると防犯灯を管理する自治会の意向もあるが,将来的に防犯灯の管理につ -括管理が望ましい。しかし,それまでは,現状のまま継続したい。					
性			 経	<u> </u> 費	現状では、この補助金は有効であり必要な物となっている。					
			削減不	変 増 加						
	⑦この事務事業の今後の経費・成果 の方向性について選択し、右欄に理	向 上								
	由を記載する。	不 変果		1						
		低下								
※内	この事務事業に対する市民や議会の意見(担当者が把握している意見) ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など 防犯灯の設置・維持管理補助金の補助率について、増額の要望がある。									
所属長コメント	属 長 コ メ メ									
評価調整委員会意見	□ 改革改善して継続 □ 手法プロセスの改革・改善 □ 事業規模の拡大・縮小 □ 統合・役割見直し □ その他 □ 廃止 □ 休止 ☑ 現状のまま継続	犯灯の管理について	で,検討を行う~	べきだが,当面に	は現状のまま継続。					